



にし阿波の傾斜地農耕システム

世界農業遺産

GIAHS

Globally Important Agricultural Heritage Systems



世界農業遺産 「にし阿波の傾斜地農耕システム」 取組報告会

2024.3/20(水) 10:00~15:25

会場：美馬市地域交流センター「ミライズ」市民ホール

先着 250 名にそば米雑炊と雑穀おにぎりを無料配布

11:00より、ミライズ西側広場において
「にし阿波農業遺産マルシェ」を同時開催

〈午前の部〉

- 9:30 開場・受付
- 10:00~10:05 オープニング・あいさつ
加美一成 (美馬市長)
- 10:05~10:10 来賓・あいさつ
藪下武史 氏(徳島県西部総合県民局長)
- 10:10~10:50 基調講演 内藤直樹 氏(徳島大学社会総合科学域 准教授)
- 10:50~11:00 休憩
- 11:00~11:40 基調報告 殿谷 梓 氏
(三好市産業観光部ジオパーク推進室 ジオパーク地質専門員)
- 11:40~11:55 「徳島・にし阿波 食と農の名人」認定証交付式

〈午後の部〉

- 13:00 開場
- 13:30~13:50 地域取組報告 吉田真澄 氏(NPO法人 二と八)
- 13:50~14:20 学習取組報告
徳島県立つるぎ高等学校、徳島県立池田高等学校辻校
- 14:20~14:35 休憩
- 14:35~15:20 学習取組報告
徳島県立脇町高等学校、徳島県立穴吹高等学校、徳島県立池田高等学校
- 15:20~15:25 クロージング・あいさつ
高井美穂(徳島剣山世界農業遺産推進協議会会長)

世界農業遺産とは、人類の遺産として保存すべき重要な農業システムを国連食糧農業機関 (FAO) が認定する取り組みです。にし阿波の山間部で暮らす人びとは、急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、様々な知恵や技術を培ってきました。また、こうした知恵や技術に支えられた土地利用によって、美しい農村景観や生物多様性の育みが2018年3月、にし阿波地域及び「にし阿波の傾斜地農耕システム」として世界農業遺産に認定されました。認定から6年。これまでの取り組みや変化を振り返り、これからのにし阿波の活性化について考えます。

基調講演

内藤直樹 氏

徳島大学大学院社会産業理工学研究部
社会総合科学域 准教授



京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、国立民族学博物館を経て現職。専門は文化人類学、地域研究。アフリカの乾燥地域と日本の山地における景観・エネルギー・鉱物資源・食料生産・世界農業遺産・難民支援等に関する調査研究を行っている。徳島剣山世界農業遺産推進協議会のアドバイザーも務める。主な著書に『四国山地から世界をみる—ゾミアの地球環境学』(昭和堂)、『コロナ禍を生きる大学生—留学中のパンデミック経験を語り合う』(昭和堂)などがある。

基調報告

殿谷 梓 氏

三好ジオパーク構想 ジオパーク地質専門員
理学博士



大学は高知大学理学部に進学し、様々な岩石が語りかける地球内部の世界に魅せられていく。大学院修士課程では、東京工業大学大学院にて隕石を用いた太陽系形成過程の研究を行う。その後、室戸ジオパークにて地質専門員として球科学を地域に普及させる活動に従事した後、北海道大学大学院博士課程に進学し、太陽風から太陽系形成過程の研究に没頭する傍ら、大学のオープンキャンパスやジオパークでの講演など地域への地球惑星科学の普及活動も行う。

2017年度4月から三好ジオパーク構想の活動の開始に伴い、現職に就任。現在は徳島県に西部エリアの生活文化と大地との関わりに着目することが多く、それらの調査、普及活動などに取り組んでいる。

【主催】 徳島剣山世界農業遺産推進協議会(美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町・徳島県)

【お問合せ】 徳島剣山世界農業遺産推進協議会事務局(つるぎ町役場 産業経済課)

【電話】 0883-62-3111